

楽天証券、米ドル／円スプレッドを0.2銭に縮小！

楽天証券株式会社（代表取締役社長：楠 雄治、本社：東京都世田谷区、以下「楽天証券」）は、2019年11月25日（月）より、「楽天FX」の取引における「米ドル／円」のスプレッドを通常の0.3銭から大手ネット証券で最狭水準[※]となる0.2銭に縮小することをお知らせします。

楽天証券は、お客様に、よりコストを抑えたFX取引を行っていただくため、随時スプレッドの見直しやキャンペーンを実施しております。現在、楽天証券のサービス開始20周年を記念し、2019年10月15日（火）から同年11月23日（土）までの期間、人気の通貨ペア「米ドル／円」を対象にしたキャンペーンを実施しており、お客様から大きな反響をいただいております。このたび、お客様からのご要望にお応えするべく、キャンペーン終了後も「米ドル／円」の通常スプレッドを0.2銭に縮小することにいたしました。

■「米ドル／円」新スプレッド（原則固定、例外あり）

通貨ペア	従来スプレッド	2019年11月25日7時以降のスプレッド
米ドル／円	0.3銭	0.2銭

楽天証券は、引き続き、お客様のニーズに即し、魅力あるサービスや商品を提供することで、さらなる顧客基盤の拡大を図るとともに、お客様の資産形成に貢献してまいります。

※：大手ネット証券6社（総合口座数上位6社：SBI証券、カブドットコム証券、GMOクリック証券、松井証券、マネックス証券、楽天証券（五十音順））と比較（2019年11月22日現在、楽天証券調べ）

【スプレッドの例外について】

通常時は上記スプレッドでお取引いただいておりますが、為替市場における取引高の低下または売買が一方に集中しているなどの状況においてはスプレッドが広がる場合があります。また、広告表示の値は実際の取引時のスプレッドを保証するものではなく、お客様の約定結果による実質的なスプレッドが広告表示の値と合致しない場合がありますのでご注意ください。なお、スプレッドの拡大は、以下のような状況において発生する場合があります。

- 平日早朝時（概ね6：30～7：30 ※サマータイム期間中は一時間繰り上がります）
- 国内外の金融市場休場日（海外のクリスマス休暇や年末年始など）
- 主要経済指標の発表前後
- 震災などの天変地異や政変または金融・経済関連の重大な出来事などの突発事象の発生時

以上

【手数料等およびリスクの説明について】

楽天証券の取扱商品等にご投資いただく際には、各商品等に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ホームページの「投資にかかる手数料等およびリスク」ページに記載されている内容や契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

商号等：楽天証券株式会社（[楽天証券ホームページ](#)）

金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第195号、商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会